

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第72号 (H29.7.26)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (メール info@ormz.or.jp) 文責：日高良雄



はじめに 7月も下旬となりました、宮崎では梅雨があげ、厳しい暑さが続いています。他の地域でも猛暑となっているところがある一方、豪雨被害に見舞われている地域もあり、地球温暖化が天候不順に影響しているのではと懸念されますね。被害に遭われた皆様には心からお見舞い申し上げます。

今回のニュースは、定款変更のための臨時総会や山元香代子先生の講演活動、さらには年間活動計画にあげていたサッカー大会の様子、巡回診療の状況をご報告します。

会の経過報告

・7月7日(金)、臨時理事会を開催し、巡回診療に使用するランドクルーザーの折れたシャフトの修理代金支出について協議し、約50万円の支出が承認されました。29事業年の活動計算書にない費用でしたが、巡回診療に際し車は不可欠であり、臨時総会に報告することとしました。

・7月22日(土)、臨時総会を開催し、平成29年4月に施行された特定非営利活動促進法の改正により「貸借対照表の公告」が義務化されたことから、公告の方法に関する定款の一部改正について審議をお願いし、定款の一部改正が承認されました。当法人の定款第51条を改正し、次の文章を追加修正しましたのでお伝えします。

＊第51条に「ただし、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、この法人のホームページに掲載する」を追加記載しました

・7月10日(月)、山元香代子先生が宮崎大学医学部看護学科にて、看護学生や関係者など約250人の方々に、ザンビアの辺地における巡回診療や疾病予防、健康教育活動などについて講演を行いました。

・また8月28日三重県四日市市の四日市東ロータリークラブで、10月2日東京都新渡戸文化小・中学校で各々1時間程度講演を行う予定です。

助会費納入及びご寄附のお願い

・認定NPO法人ザンビアの辺地医療を支援する会の事業は、皆様からの賛助会費並びにご寄附により運営されています。賛助会費は個人一口5000円、団体一口10000円からとなっており、ご寄附につきましては金額を問いません。

・郵便局まで足を運んでいただくというお手間をおかけしますが、ご協力のほどなにとぞよろしくお願い致します。入金を確認しました際には、日高から御礼のメールを差し上げます。また当法人は認定NPO法人であり、ご寄付(賛助会費含む)いただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書(賛助会費も寄附金と同様税控除の対象)をお届けしますので、確定申告の際まで大切に保管しておいてください。ご不明の点は日高 (info@ormz.or.jp) までご連絡ください。

★郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351

加入者名 : NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351

加入者名 : NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

カナ名称(全角) : トクヒ ザンビアノヘンチイリョウヲシエンズルカイ

現地活動報告 サッカー大会を開催

29 事業年の活動計画の一つである保健衛生啓発、若い男性を対象とした性病予防を促すためのサッカー大会を開催しました。

ルアノ、ニャンカンガ地区では梅毒などの性病が多く、また HIV/AIDS 感染している人も多いため、若い人々、特に男性の

HIV/AIDS の検査を勧めるために、今年はそれぞれの地区でサッカー大会を企画しました。

まずムレタさん、シバンダさんが HIV/AIDS の検査の必要性や、巡回診療ではいつでも検査できることなどを説明しました。それぞれ 4 チームをつくり、トーナメント方式で 15 分 2 回の 30 分で試合を行いました。1 位のチームには小さなトロフィーとサッカーボールを、2 位のチームにはサッカーボールを、競技参加者全員に、Go for VCT (エイズ検査に行きなさい) と背中に印刷された T シャツを配りました。若い人を中心に多くの人々が集まり大盛況でした。

しかし、競技参加者が多くとても費用のかかる活動でした。今後の HIV/AIDS 検査の動向をみて、また競技参加者が男性ばかりでしたので、今後女性を参加させるにはどうしたらいいのかなどについて検討したうえで今後の計画を立てる必要があると考えています。

ルアノ地区 : HIV・エイズ検査 10 人、うち 2 名陽性、3 名に性感染症あり
ニャンカンガ地区 : HIV・エイズ検査 7 人、陽性なし



大勢の参加者



選手達

現地活動報告 (ザンビアより芦田様から)

◎6月28日報告 ルアノ巡回診療

同行者：ムレタさん、デリックさん、チブリカさん、シバンダさん

CHW：エバリンさん、マチラさん、マーティンさん、バージニアさん

患者数：80人 マラリア検査数 80人うち陽性 18人、主な症状は頭痛、腰痛、性病 (STI)

重篤なケース：1人チペンビHCへ行くよう指示 (症状は不明 (搬送なし))

*道路状況：引き続き良くはないが通行は可能。

*蚊帳販売：なし

*車両整備：ボックス：バッテリーを固定する枠が外れているので、溶接する必要あり。

エレファント：途中動かなくなった原因はクランクシャフトが折れていたため。取り替えと共に、エンジンの各部をチェックする必要がある。

◎7月5日報告 サンダラ巡回診療

同行者：ムレタさん、デリックさん、チブリカさん、シバンタさん

CHW： 3人

患者数： 120人 マラリア検査120人うち陽性54人、主な症状は頭痛、腰痛

マラリア陽性が多い理由は、CHWのマーティンがここ3週間ほど訪問していなかったからではないかというのがギルバートの意見（訪問しなかった理由は不明）

重篤なケース： なし

*道路状況： 引き続き良くはない。往路は18時45分現地出発、午前1時30分ルサカ到着

◎7月12日報告 ルアノ巡回診療

同行者： ムレタさん、デリックさん、チブリカさん、シバンダさん、ギルバート（BOX）

CHW： マチラさん、バージニアさん

患者数： 74人 マラリア検査数74人うち陽性9人、主な症状は頭痛、腰痛、性病（3人）

重篤なケース： なし

*蚊帳販売： なし

*道路状況： 通行は可能。

◎7月19日報告 ニャンカンガ巡回診療

同行者： ムレタさん、デリックさん、チブリカさん、シバンダさん、ダニエル（バルーン）

CHW： マーティンさん、エバリンさん

患者数： 87人 マラリア検査数87人うち陽性11人、主な症状は咳、腰痛

重篤なケース： なし

*蚊帳販売： 10個売却、代金回収済み。

*道路状況： 良くはないが通行は可能。

ザンビア情報（在ザンビア日本大使館HPからの転載情報）

◎ザンビアの衛生概況

ザンビアの衛生状態は地域によっても大きく異なってきますが、都市部においてもインフラの老朽化や整備の遅れ、上下水道や電気などの供給が十分でなく、井戸水を利用し自家発電を必要とする地域が多数みられます。毎年コレラや赤痢などの経口感染症が多く発生しています。生水は飲めませんので、市販のミネラルウォーターか煮沸した水の使用が必要です。市販のペットボトルは品質に問題があることが多いので、開封前に浮遊物がないか、水が減っていないか確認すると良いでしょう。

衛生概念が日本と大きく異なり、都市部のスーパーマーケットで販売されている食材でも清潔とは言えないことから、十分加熱調理したものを食べてください。乳製品等は賞味期限を信頼せず、腐敗していないか確認してから調理に用いましょう。缶詰や瓶詰めは、密封されているか（蓋が凹んでいるか）確認してから購入しましょう。ゲームミートとして、カバやクドゥなど野生動物の肉が供されることがありますが、炭疽菌感染の報告もあることから、信頼できるレストラン以外で食べるのは避けましょう。

蚊などの害虫や日焼けによる健康障害を避けるために、外出時は皮膚の露出が少ない長袖長ズボンを着用してください。当地の川や湖には住血吸虫が生息していますので、直接水に触れることは避けましょう。

*次回はザンビアの医療制度についてお伝えします。

以上

平成29年もORMZへのご支援のほど、どうぞよろしく申し上げます